

平成二十九年年度

愛恵会だより

年度末号

三月十七日、東京でも桜の開花宣言がありました。ひと雨ごとに春が近づいているのを感じます。三月は巣立ちの季節でもあり、春の訪れの嬉しさや、別れの切なさとの両方を併せ持つ複雑な心境になりますね。愛恵会乳児院でもここを巣立ち家庭に帰る子ども、児童養護施設に行く子ども、里親さんのもとへ行く子どもと様々です。新しい環境で子どもたちがより一層健やかに成長してくれることを願っています。

愛恵会から重要なお知らせが二点あります。



一つは、子どもの食事に関わるお知らせです。平成三十年四月一日付けで調理業務を外部委託することになりました。献立は今まで通り、愛恵会乳児院の栄養士が立てますが、調理部門を株式会社天柳に委託することになりました。調理の基本となる食材は、今まで同様でできる限りの地元の商店での仕入れをお願いします。子どもの成長のため、より一層おいしい食事を提供できるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

もう一つは、平成二十六年年度から当院の施設長を努めてまいりました佐藤哲朗が三月三十一日付けで施設長の職を辞することになりました。以下にご挨拶を掲載いたします。平成三十年度は引継ぎのため施設長補佐として当院に在籍いたします。

桜の便りが届く季節となりました。季候の変化に敏感な子ども達も、体調を崩して通院する数が減り落ち着いてきました。もうすぐ、元氣にお散歩をする姿が見られるようになります。

私事ですが、この三月をもって施設長の大役を引き継ぎ、施設長補佐として次の施設長を支えることとなりました。今までの多くの方々のご協力に感謝申し上げます。

この四年間は、施設の建て替えの期間でした。建て替え期間中の仮院舎では、生活の場所が手狭となっただけでなく、子ども達と面会して頂く部屋も二部屋しか確保出来ませんでした。又、駐車場や、入浴体験を行える場所も準備できませんでした。この為、子ども達のご家族の皆様には、ご不便をおかけすることになってしまい申し訳ありませんでした。

建て替えの期間、職員達が一丸となって、子ども達が少しでもストレスを感じることのないように遊びや行事に工夫を凝らしていた事が思い出されます。

乳児院は、単に子ども達をお預かりするだけでなく、早く帰れるように家庭を援助する施設です。困った事や不安に思う事は職員に相談して下さい。どうしても解決するか一緒に考えて行きます。乳児院は、利用できる施設である事を知って頂き、利用して頂きたいと考えています。

施設長 佐藤 哲朗



そらホームの男の子が三歳を迎えたため、担当養育者と七五三のお祝いを行いました。担当養育者との一対一でのお出掛けで、嬉しそうに出かけて行きました。

写真撮影を行なうため、スタジオへ。子どもが自分でタキシードと袴を選び、ポーズをカッコよくきめ、衣装はとても良く似合っていました。

ご機嫌で写真撮影を終え、担当養育者と外食を行い自分の好きな物を食べ、一日とても楽しかった様子でした。

もりホームの子どもにも三歳を迎えた子どもがいましたが、感染症が流行していたため、外部に写真撮影に行くことが出来ませんでした。

しかし、もりホームの養育者が袴を用意してくれて、ホーム内で写真撮影を行なうことが出来ました。袴姿とてもカッコ良かったです。

二人共もっと大きくなったらどんな男の子になるのかな。楽しみですね。

七五三の写真代や食事代は、寄付金を使用させて頂いています。皆さんのお気持ちと子どものお祝いを出来るのは、とても嬉しいことです。





クリスマス会

十二月二十二日。

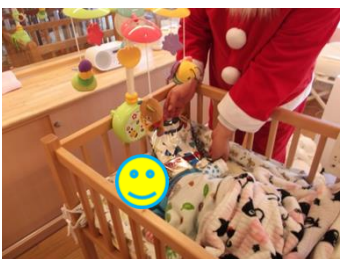
少し早いクリスマスのお祝いをしました。

歌を歌って、クリスマスの絵本を見て、いよいよお待ちかねのサンタさんの登場です。子ども達一人ひとり、直接サンタさんからプレゼントを貰いました。

(中にはサンタさんに驚いて泣いてしまう子どももいました。)

そして、ホールでのクリスマス会には参加が出来なかった、ひよこホームの部屋にもサンタさんが来てくれました。

ひよこホームから、幼児ホームの子も達まで、みんなでクリスマスを楽しみました。



愛恵会で一番大きいお兄ちゃんと、一番小さいベビーちゃん。サンタさんは、みんなのところに来てくれました。

お正月



一月一日にお正月の行事をホールにて行いました。

養育者が紙芝居を読み、紙芝居の中で最初は小さかったお重が大きくなり、本物のお重が出て来てみんな大喜び。出て来たお重に蓋が付いていたため、大きい子どもが蓋を開け、みんな一斉にお重が乗っている机に近寄り、興味津々でお重の中のおせち料理を見ていました。このおせちは、ホームごとに用意され、お昼に美味しく食べました。



お正月遊びのアンパンマン福笑いも行いました。養育者手作りの福笑いで、壁にアンパンマンの顔が貼ってあり、一人ひとりが担当し、ホームごとにアンパンマンを作製しました。みんな上手に貼れ、個性的なアンパンマンが出来ました。



その後すぐ獅子舞がホールに入って来て子ども達はびっくり!

怖かったのか泣いてしまう子どもも少しずつ後ずさりをする子ども、養育者から離れない子ども、獅子舞に頭を噛まれキョトンとする子ども等様々な子どもの姿が見られました。

獅子舞が終わると、施設長からお年玉を貰いました。お年玉を持ち、お正月の会の後はホームごとに近所の神社へ初詣に行き、お参りをしてきました。

残ったお年玉は、後日スーパーへ行きガチャガチャを行ったり、テイクアウトをして美味しいものを食べたり、玩具を買ったりとホームごとにお正月を満喫しました。

雪遊び

一月二十二日に雪が降りました。
一日で院庭は真っ白の別世界へと変身。

いつもの様に戶外遊びの準備をして玄関を出たものの……。見たこともない光景に後ずさり、なかなか一歩が踏み出せずじまいました。足が埋もれて思うように動けず泣いてしまう子どもも居ましたが、次第に慣れてきて雪合戦したり雪だるまをたくさん作ったり、中には雪の冷たさを口で感じたりと遊び方は様々。砂や粘土とは違った感触で“丸める”“投げる”“にぎる”“たくさん”の“る”遊びが体験出来ました。



節分

二月三日愛恵会にも鬼がやって来ました！

今年はインフルエンザが流行中で、院全体での節分の会は開けませんでした。各ホームでは子ども達が頑張って鬼退治をしました。初めての鬼に怖がり逃げ出す子どもも！興味津々で近寄っていく子どもも！反応は様々でしたが、いろんな子ども達の表情を見ることが出来ました。少し怖かったけれど楽しい節分の行事を体験することが出来ました。



おやつには、調理が作ってくれた恵方巻きを美味しく食べました



おひな祭り



三月三日は、愛恵会のおひな祭りの会が行われました。小さな子ども達が、おひな祭りのお話や、うれしいひなまつり♪のパネルシアターを真剣なまなざしで見っていました。

ホールの前には寄付して頂いた立派な七段飾りを飾らせていただいています。前を通るたびに子ども達も綺麗なお雛様を見て喜んでいきます。

愛恵会には初節句の女の子もたくさん生活しています。

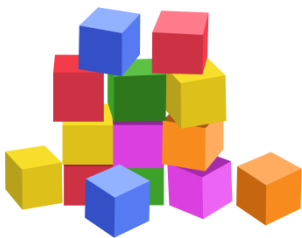
家庭でお祝いするのと同じ様に、お祝いの日を過ごして欲しいと思っています。これからの子ども達の健やかな成長を願って……。

☆子育て支援広場

今年度は子育て支援広場を月一回（第四火曜日）の頻度で実施してまいりました。残すところあと一回となりました。愛恵会の子育て支援広場は、地域のママ達のおかげでたくさんの子育て中のママに利用していただけるようになり、リピーターの方も増えました。

今後の予定

三月二十七日（火） 一〇時～一二時



今年度は、初めての試みとして、開催時間を午後まで延ばし、「ママたちのしゃべり場」と題して座談会を行いました。また、パン工房ラパンさんのパンの販売も広場と同日に行い、広場でたっぷり遊び、ラパンさんの天然酵母の美味しいパンでお腹を満たすという、子どももママも満足してもらえる場所と時間の提供が出来たのではないのでしょうか。

平成三十年度も地域で子育てをしている皆さんを、楽しいおもち

やと空間を用意してお待ちしています。

寄付のお願い

子どもたちの健やかな成長のため、
皆様の温かいご寄付をお願いいたします。

連絡先 .. 愛恵会乳児院 萩原

042(773)2806



広報委員 小林、茅、池内
橋本、麻生
責任者 佐藤

平成三十年三月二十五日 発行